

2018
5月号

原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

「被爆者の証言とノーベル平和賞受賞・ICAN 川崎哲さん講演」

～核兵器禁止条約を生かすために～



昨年12月に発
足した「ヒバクシ
ヤ国際署名推進・
大阪の会」によ
る最初の「講演
会」が4月16
日、エルおおさ
かで開催され、
府下各地から
160名が参
加、核兵器の
ない世界をめ
ざす決意を新
たにしました。
「ヒバクシ
ヤ国際署名推
進・大阪の会」
代表世話人の
中北龍太郎弁
護士(左写真)
が、「米朝に
よる核による
威嚇の悪循環
を改めさせよ
う」と開会挨拶。

続いて二人
の方による被
爆体験が語ら
れました。
天王寺区在住
の末広千鶴子さ
ん(91歳)が、
18歳の時に広島で被爆し、
衣服も焼けて裸同然の姿にな
り、かつ「水を飲むな」と言
われて必死に逃げ回った様子
を、時々絶句しながらリアル
に語られました。枚方市の森
容香さん(77歳)は、幼い
ころに習った「日露戦争の数
え歌」を紹介して「日本不戦
敗」を信じ込まされていたこ
と、被爆によって家族が離散
を余儀なくされたことを話さ
れました。

記念講演「核兵器禁止条約
を生かすために」今後の課題
と題して、ICAN国際
運営委員の川崎哲(あきら)
さんが、80分間56枚のパ
ワーポイント画像を活用して
講演。
ICANの自己紹介からノ
ーベル平和賞受賞の背景や様
子、核兵器禁止条約の内容、
今日に生かすべきポイント、
日本政府の態度などをリアル
に、国際的な視野から縦横に

話を、参加者に深い共感と
感銘を与えました。
「大阪の会」事務局長の梅
田章二弁護士は、「改憲反対
の署名は、大阪でも100万
筆を越えて 広がっている。
ヒバクシヤ国際署名は、それ
より少ないのが現状だが、自
治体などをまきこんで署名を
ひろげていこう」とし、「大
阪の会」への財政的支援も呼
びかけました。

「閉会あいさつ」で、核戦
争防止国際医師会議(IPIP
NW)大阪府支部長の安田正
幸医師は、「IIPNWは、8
0年の冷戦時代に米ソの医師
によって結成され、1985
年にはノーベル平和賞も受賞
した。しかし近年高齢化し、
人数が減少しているのが世代
継承に努力している。皆さん
と一緒に頑張って頑張りたい
」と参加者にお礼を述べられま
した。

参加者からは、多くの協賛
金と以下のアンケートが寄せ
られました。
「被爆者の証言」では、「リ
アルな証言を聞いて泣きそう
になった」「時間の制約はわ
かるが、もっと聞きたかった」
「初めて聞いて感動した」
「文字で読むのと違って迫力
があり、証言を聞くことの重
切さを知った。長生きして証
言を続けて下さい」等など。
川崎さんの「記念講演」で



IPPNW 大阪府支部長の
安田正幸さん

お知らせ

【加盟団体・個人の皆さまへ】

5月19日(土)に予定しておりました第58回おおさか原水協定期総会は、諸般の都合により延期をさせていただきます。

また、永らく原水爆禁止運動の発展にご尽力していただきました小松正明氏は、健康上の理由等で事務局長を退任することになりました。

当面するヒバクシヤ国際署名運動、国民平和大行進、そして夏の原水爆禁止世界大会と重大な課題が山積しています。加盟団体・個人の皆さまのご援助・ご協力をお願いします。(岩田幸雄理事長)



熱心に語る川崎哲さん

核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に込めて
唯一の戦争被爆国として日本政府は率先して調印を



集会に参加された被爆者の方々と川崎哲さん(中央後ろ)
椅子にお座りの森容香さん(左)、末広千鶴子さん(真ん中)

ヒバクシヤ国際署名(4月31日現在)

33万8357筆



朝鮮半島非核化の道“いまこそ対話と核兵器禁止条約の活用を”

南北首脳が「板門店宣言」発表(4月27日)

その表題は「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」と題し、その前文に「両首脳は、朝鮮半島でこれ以上の戦争はなく、新たな平和の時代が開かれたことを8000万わが民族と全世界に厳粛に闡明（せんめい）した。とし、以下の第一に共同の繁栄と自主統一の未来にむけて6項目、第二に朝鮮半島における先鋭な軍事的緊張状態を緩和し、戦争の脅威を実質的に解消するために共同で努力するとし、3項目にわたって対策をたて、

韓国の文在寅大統領と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は、27日板門店で南北首脳会談を行い、歴史的な「板門店宣言」に合意し、署名しました。

最後に第三に「朝鮮半島の恒久的で堅固な平和体制構築のために積極的に協力していくために4項目で合意した。この4項目の中に、③に「停戦協定65年になる今年中に、終戦を宣言して停戦協定を平和協定に転換し恒久的で堅固な平和体制構築のための南北米3者または南北米中4者会談の開催を積極的に推進」と明記、④に「完全な非核化を通じて核のない朝鮮半島を実現するという共同の目標を確認した。南と北は、北側が取っている自主的な措置が、朝鮮半島の非核化のために大膽で意義ある重大な措置だとい

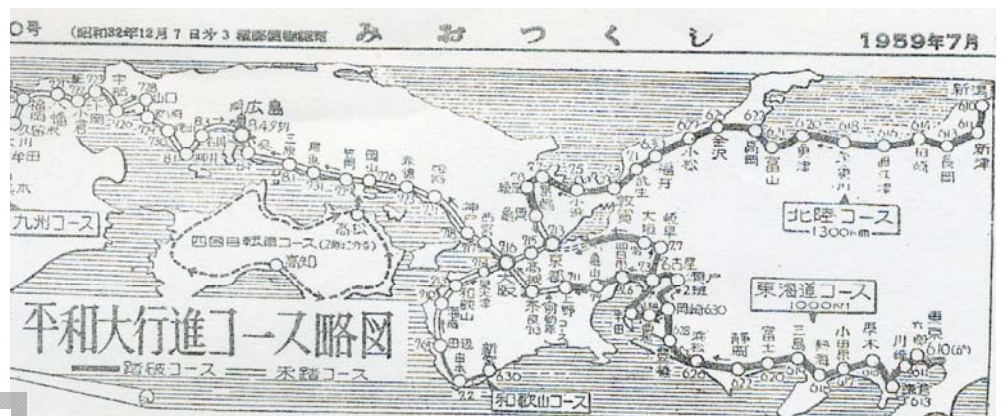
う認識を共にし、今後、それぞれ自らの責任と役割を果たすことにした。南と北は、朝鮮半島の非核化のための国際社会の支持と協力のために積極的に努力することにした。」（下線は大阪原水協）この最後の合意項目こそ、国連で採択された「核兵器禁止条約」への協力です。日本政府は100%アメリカ頼みの、「外交なしの圧力一辺倒」政策を転換して、唯一の戦争被爆国として「核兵器禁止条約」への署名と批准をし、朝鮮半島の非核化に力を発揮すべきではないでしょうか。



60周年の2018年国民平和進行の成功を

～各コースで準備着々と～

60周年を迎える今年の国民平和進行は、府下各コースの打ち合わせ準備がすすめられています。この機会に60年の平和進行の歴史を少しふりかえってみます。右図は第2回目の国民平和進行のコース略図です。前年の広島から東京の最初の平和進行の成功をうけて、1959年6月10日、東京から広島への平和進行が取り組まれました。この地図は、大阪市職員労働組合の機関紙「みおつくし」に掲載されたものです。60年安保の改定に向けての日米両国政府の策動している情勢のもとでの国



ご参加をお願いします！

2018 ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟

全面勝利をめざすつどい

日時 6月2日(土) 午後2時～4時半

場所 大阪グリーン会館ホール

記念講演 『核兵器のない世界へ～被爆者の想い』

講師 日本被団協事務局次長 和田征子 さん

※ 文化行事～愛と平和のうたごえ～

川口 真由美 さん(シンガー・ソングライター)

☆原告紹介・激励

☆弁護団報告

☆行動提起

*ノーモア・ヒバクシャ訴訟近畿弁護団

*ノーモア・ヒバクシャ訴訟支援近畿連絡会 共催

【御礼と報告】

福島・沖縄に連帯して「原発ゼロ・核兵器をなくす第7回アートフェア」が4月4日から6日の三日間、中央公会堂2Fギャラリーで開催されました。34名の方々から140点の作品を出品していただきました。

この催しは、大阪革新懇、大阪美術家革新懇、大阪原水協の共催で取り組まれています。今年度は7回目を迎え、245名の来場者があり、ご協力をいただき、福島・宮城・岩手の3県に支援カンパを送金させていただきました。次年度も予定されています。ご協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。

民平和進行がとりくまれました。「広島へ！私たちが再び原爆で殺されたいために」「広島へ！世界の人びとと原爆で殺し合うことのないように」さらに、「核武装阻止と民主主義擁護」のスローガンが掲げられました。大阪には、奈良・京都・和歌山の三方から7月16日に進行されました。この平和進行に参加された方の感想をお聞きしたいと思います。大阪原水協事務局までお寄せください。

**摂津市、全会一致で採択
「核兵器禁止条約の日本政府
の署名と批准を求める意見
書」(平成30年3月29日)**